

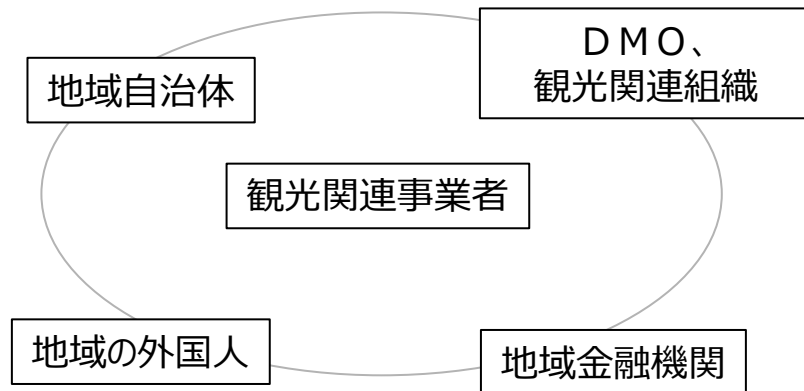
平成28年度観光事業創造エコシステム構築に向けた調査事業（概要）

- 成長する観光市場を背景に、同市場における事業創造のためのエコシステム構築に係る課題や、ネットワーク化された際の効果について、モデル事業（観光事業創造Labo、地域クラウド交流会）を用いて検証を実施。

※エコシステム：複数の企業が商品開発や事業活動等でパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、開発業者・代理店・販売店・宣伝媒体、さらには消費者や社会を巻き込み、業界の枠や国境を越えて広く共存共栄していく仕組み。

観光関連事業創造エコシステム（イメージ）

⇒多様なプレイヤーが有機的なネットワークを構築し、コミュニティを形成し、エコシステムを構築



調査を通じて、エコシステム構築において必要な課題等を整理。

（調査報告書の構成）

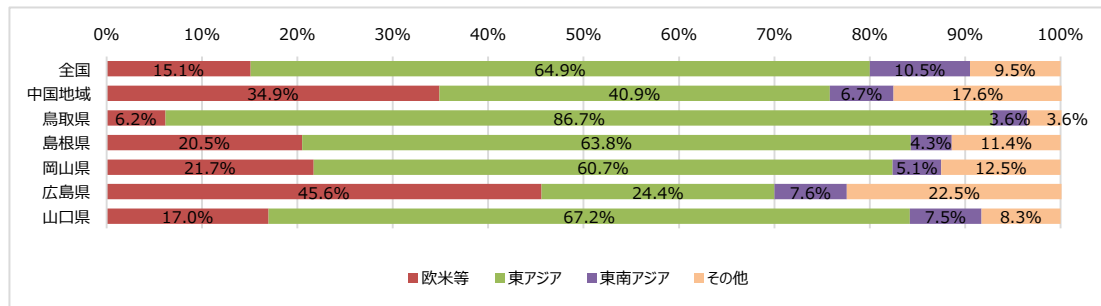
- I. 調査の概要
- II. 観光関連事業創造に係る検討会の実施
- III. 観光関連事業創造エコシステム構築に係る効果検証会の実施
- IV. まとめ

I. 調査の概要

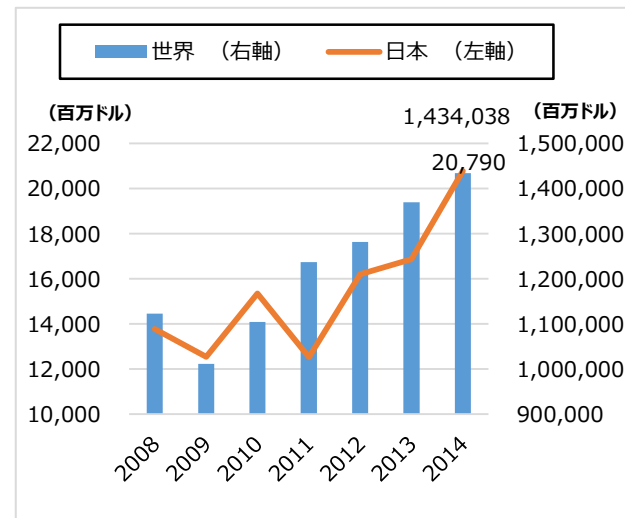
【調査の背景】

- 世界及び日本の国際観光収入・国際観光到着数は増加しており、観光関連市場は成長傾向だが、FIT（Foreign Independent Tour）化により産業構造が変化。
- 中国地域もインバウンドを中心に成長傾向。
- 中国地域でも、様々なDMOが立ち上がる等、地域は観光関連産業に注目。

○外国人延べ宿泊者数の地域別比較



○国際観光収入の推移



【調査の目的】

- 観光関連市場において、多様化・個別化するニーズに対応し、観光関連産業が地域経済活性化に繋がる仕組みが必要。
- 本調査において、観光が地域活性化に繋がる仕組みとして、観光関連産業のプレイヤーが有機的に繋がり、事業創造を行うための「観光関連事業創造エコシステム」構築を目指し、必要な課題等の調査・分析を実施。

【事業の内容及び方法】

(1) 観光関連事業創造に係る検討会

(「観光事業創造Labo」「観光関連事業創造Labo NEXT-STEP」)

- 事業創造の第一人者である株式会社01Boosterと連携し、地域のプレイヤーを掘り起こし、検討会・アンケート調査を行うことで、エコシステム構築に必要な課題等について整理。

(2) 観光関連事業創造エコシステム構築に係る効果検証会

(「第1回広島地域クラウド交流会～せとうちツーリズムイノベーション～」)

- ネットワーク化した際の効果検証のため、広域DMOである「せとうち観光推進機構」が活動を支援している「せとうちHolics」と連携し、創業気運を醸成する手法として拡大しているサイボウズ株式会社が実施する「地域クラウド交流会」を用いて、モデル的にネットワーク化し、アンケート調査等を通じて、見込まれる効果等について検証を実施。

Ⅱ. 観光関連事業創造に係る検討会の実施

- 事業創造の第一人者・株式会社01Boosterと連携し、観光分野で事業創造を目指す者等を対象に、セミナー・ワークショップを開催し、アンケートを実施。

「観光事業創造Labo」

- 日時・場所：山陽会場（広島）H28.12.3
山陰会場（米子）H28.12.4
- 参加者：84名（山陽45名、山陰39名）
- 趣旨：年齢・国籍・職種を問わない参加型ワークショップ



「観光事業創造Labo NEXT-STEP」

- 日時・場所：広島会場H.29.3.4
- 参加者：46名
- 趣旨：「観光」×「ものづくり」の連携の可能性。



（調査結果）

- 観光関連産業においては、多様性を持つコミュニティ（＝「弱い紐帯」）形成の可能性がある。
- ネットワークは未構築であり、その有用性は肯定されている。いかに「閉じない」ネットワークを形成するかが課題。
- 「新しい視点を持つ者」等と繋がり、事業拡大にむけてブラッシュアップが重要。
- DMOは認知度は低いものの、求められる役割はマーケティング／マネジメント、ネットワーク形成。

Ⅲ. 観光関連事業創造エコシステム構築に係る効果検証会の実施

- せとうちDMOの関連団体である「せとうちHolics」と連携し、全国に拡大する創業支援イベント「地域クラウド交流会」を手法を用いて、ネットワークした際の効果を検証。

「第1回広島地域クラウド交流会

～せとうちツーリズムイノベーション～

- 日時・場所：広島会場H29.2.25
- 参加者：145名
- 趣旨：ネットワーキングによる効果検証



（調査結果）

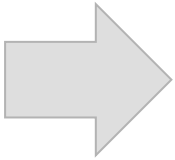
- DMOとの連携で広域の観光エリアのネットワーク化が実現。
- ネットワーキングの機会周知には口コミ・SNS活用が有用。
- ネットワーク拡大が事業拡大、観光関連産業振興に繋がると認識されている。
- 参加満足度・継続希望ともに高く、地域の気運醸成にも有効。

IV. まとめ

- 事業創造におけるエコシステムにおいて重要なのは、「弱い紐帯（＝社会的繋がりの弱い繋がり）」を活かしたコミュニティをいかに創造するか。
- 地域経済の活性化や市場の成長を背景に多様なプレイヤーが参画しやすい観光関連産業においては、「弱い紐帯」を比較的創出しやすい。
- 現状は、エコシステムを構築するためのネットワークが存在しているとは認識されていないもの、その有用性は認知されており、プレイヤー側からネットワーク構築を求める声も存在。

- ネットワーク化を進め、エコシステムが構築されることにより期待される効果としては、ネットワーク拡大が事業拡大に繋がるとの声も確認でき、同分野で事業展開へ意欲を持つ者にとって有用。
- 観光関連産業の振興に繋がることについても期待されており、今後、同分野において事業創造を拡大する中でも、積極的にエコシステムを創出していくべきである。
- 加えて、エコシステムを構築するにあたって、ネットワーク化の機会を「日常的な情報交換の場」や「定期的なイベント」として提供することが求められているが、口コミ・SNS等の手法を活用しつつ、「弱い紐帯」を維持しながら、対面で話す機会を増やしつつ、更に事業創造を加速することが有用。

- ネットワーク化だけでなく、エコシステムにより事業創造を加速するために必要な取組をさらに検討していくことが必要。また、ネットワーク構築の際には、「せとうち」といった、既存の行政区画を超え、広域である点も評価されており、エコシステムを「弱い紐帯」たらしめるためにも、いかに閉じないネットワークを構築し、多様性を確保すべきかという点も、今後の課題。上記課題を解決するための手法の一つとして、DMO等の観光分野におけるエリアマネジメントを行う組織を活用することが考えられる。

- 
- 今回の調査結果を活かし、今後、観光関連産業を「地域が稼ぐ産業」とするためには、DMO等を活用することで、各地域で事業創造に関するエコシステムを構築し、プレイヤーのネットワークを拡大することで、事業を創出・拡大していく取組を広めていくことが重要。